

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2007-154166(P2007-154166A)

【公開日】平成19年6月21日(2007.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2007-023

【出願番号】特願2006-295085(P2006-295085)

【国際特許分類】

C 0 8 J 3/14 (2006.01)

C 0 8 L 81/02 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 3/14 C E Z

C 0 8 L 81/02

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月11日(2009.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

粒子の平均粒径が 10 μm 以下であることを特徴とするポリアリーレンサルファイド微粒子を界面活性剤を含有する水に分散させた分散液。

【請求項 2】

粒子の平均粒径が 5 μm 以下であることを特徴とするポリアリーレンサルファイド微粒子を界面活性剤を含有する水に分散させた分散液。

【請求項 3】

ポリアリーレンサルファイドが、ポリ(フェニレンサルファイド)であることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の分散液。

【請求項 4】

ポリアリーレンサルファイドを溶媒に溶解し、析出させることにより粒子の平均粒径が 10 μm 以下であるポリアリーレンサルファイド微粒子を製造することを特徴とするポリアリーレンサルファイド微粒子の製造方法。

【請求項 5】

溶媒が、N-メチルピロリジノン、o-ジクロロベンゼン、1-クロロナフタレンから選択された 1 種類以上であることを特徴とする請求項 4 記載のポリアリーレンサルファイド微粒子の製造方法。

【請求項 6】

粒子の平均粒径が 10 μm 以下であることを特徴とするポリアリーレンサルファイド微粒子。

【請求項 7】

粒子の平均粒径が 5 μm 以下であることを特徴とするポリアリーレンサルファイド微粒子。

【請求項 8】

ポリアリーレンサルファイドが、ポリ(フェニレンサルファイド)であることを特徴とする請求項 6 または 7 記載のポリアリーレンサルファイド微粒子。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

即ち、本発明は、

(1) 粒子の平均粒径が $10\ \mu\text{m}$ 以下であることを特徴とするポリアリーレンサルファイド微粒子を界面活性剤を含有する水に分散させた分散液、

(2) 粒子の平均粒径が $5\ \mu\text{m}$ 以下であることを特徴とするポリアリーレンサルファイド微粒子を界面活性剤を含有する水に分散させた分散液、

(3) ポリアリーレンサルファイドが、ポリ(フェニレンサルファイド)であることを特徴とする(1)または(2)記載の分散液、

(4) ポリアリーレンサルファイドを溶媒に溶解し、析出させることにより粒子の平均粒径が $10\ \mu\text{m}$ 以下であるポリアリーレンサルファイド微粒子を製造することを特徴とするポリアリーレンサルファイド微粒子の製造方法、

(5) 溶媒が、N-メチルピロリジノン、o-ジクロロベンゼン、1-クロロナフタレンから選択された1種類以上であることを特徴とする(4)記載のポリアリーレンサルファイド微粒子の製造方法、

(6) 粒子の平均粒径が $10\ \mu\text{m}$ 以下であることを特徴とするポリアリーレンサルファイド微粒子、

(7) 粒子の平均粒径が $5\ \mu\text{m}$ 以下であることを特徴とするポリアリーレンサルファイド微粒子、

(8) ポリアリーレンサルファイドが、ポリ(フェニレンサルファイド)であることを特徴とする(6)または(7)記載のポリアリーレンサルファイド微粒子を提供するものである。